

校長あいさつ

福島県立視覚支援学校 Web サイトにアクセスいただきまして、誠にありがとうございます。

本校は、明治 31 年に渋木、高橋、長沢氏らのご尽力により創立された福島県で唯一の視覚障がい児・者のための学校です。本年 2 月に満 120 周年迎え、121 年目に突入しました。児童生徒は、長い歴史と伝統を振り返りながら、社会参加と自立をめざし、日々努力を重ねています。

さて今年度、次なる視覚支援学校の進むべきステージを見通し、学校経営・運営ビジョンの見直しを行いました。目標とするのは「3つの『**たい**』のある学校」です。

1. 児童生徒が「**行きたい学校**」

児童生徒の見え方や視覚の状態、学習の習熟度などはそれぞれ違います。小学部・中学部、そして高等部普通科の児童生徒に対しては、一人一人の状況に合わせた授業を実践しながら、学力の向上などをめざします。また、理療科については、知識の定着や技術の習得を図りながら、最終目標である国家試験の合格を導きます。「清く、正しく、明るく」の校訓の下、職員が一丸となって児童生徒の夢や目標を叶えるよう努力を重ね、児童生徒が行きたいと思う視覚支援学校にします。

2. 保護者が「**行かせたい学校**」

児童生徒が学校に行くことを楽しみにする、また学力向上や資格取得など目に見える形が現れることで、保護者の皆様方は学校に信頼を寄せ、わが子を視覚支援学校に通わせたことが正しい選択だったと考えていただくよう努力します。

更に学校は、保護者や児童生徒にとって安全・安心な場所ではなくてはなりません。特に本校は県内唯一の視覚支援学校であることから、遠方に自宅のある児童生徒は寄宿舎を利用することとなります。安心してお子様を任せられる学校作りをめざします。

3. 地域が「頼りたい学校」

本校は、県内唯一の視覚支援学校として、地域支援センター「のびのび」を設置しております。7つの圏域や視覚障がいをもつ児童生徒が在籍する学校などを訪問しながら、専門的なアドバイスや支援を長年にわたり実施しております。今後も視覚障がい教育に関する専門性の高い学校・地域支援センターとして、信頼されかつ必要とされる存在でありたいと考えています。

時代は平成から令和に変わろうとしています。盲学校・視覚支援学校としては創立後、5つ目の時代に突入します。今後も視覚障がい教育の専門機関として地域と共に歩みながら、児童生徒の夢を叶える教育を推進していくと共に、教職員一丸となって不祥事防止に努めていきますので、保護者の皆様方をはじめ地域の皆様や関係機関の皆様には、更なるご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



平成 31 年 4 月

福島県立視覚支援学校長 須田 康仁